

第 34 回 (2019 年度) 日本女性医学学会 優秀演題賞 受賞報告

第 34 回日本女性医学学会が 2019 年 11 月 2 日 (土) 3 日 (日) にヒルトン福岡シーホーク (福岡市) で開催され、優秀演題賞を受賞しました。「ラット視床下部におけるエストロゲン依存的オキシトシンの変動」という演題で発表しました。これは産業医科大学第 1 生理学大学院での基礎研究であり、視床下部のオキシトシン合成・産生にエストロゲンが関与しているということをラットを用いた動物実験で初めて証明した研究内容です。視床下部で作られたオキシトシンの脳への直接作用は最近注目されています。臨床的な意義として、ホルモン (エストロゲン) 補充療法をすることで脳でのオキシトシン合成・産生を促進させる可能性を示唆します。産婦人科領域において、馴染みのあるオキシトシンですが、脳での作用はまだ未知の領域です。今回の受賞を励みに、少しでもメカニズムを解明し臨床に還元できるよう今後とも精進してまいりたいと思います。ご指導いただきました第 1 生理学の上田陽一教授、産婦人科学の吉野潔教授をはじめ、実験に携わった諸先生方に深く御礼申し上げます。

(第 1 生理学大学院 3 年、産婦人科 西村和朗)